

<私以上にわたしを知る神>

詩篇139篇1～18

神の前に何一つ覆い隠すことが出来ない！

「わたしを知る神」とはどんな方？

悪いことをしないように見張っている / 良いことをしたら報いてくれる。

Doing 「何をしたか」という行為について知っているだけでなく

Being 「わたし」という存在について知っている、

あなたは私を探り、私を知っておられます。あなたこそは私のすわるのも、立つのも知っておられ、私の思いを遠くから読み取られます。あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、私の道をことごとく知っておられます。ことばが私の舌にのぼる前に、なんと主よ、あなたはそれをことごとく知っておられます。【1～4節】

神さまは人の思いを知っている

けれど、人は神の御思いを知りつくことがなかなか出来ない。

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。一主の御告げ一天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。 イザヤ55：8，9

「私を知る」神は、思いもよらないストーリーを用意なさる方

神よ。あなたの御思いを知るのはなんとむずかしいことでしょう。その総計は、なんと多いことでしょう。それを数えようとしても、それは砂よりも数多いのです。【17～18】

新共同訳：あなたの御計らいは

総計・・・全てをひっくるめて計算すること。また、その合計。

2節：遠くから私の思いを読み取られる。

3節：私の歩みと私の伏すの見守る。私の道をことごとく知っておられる。

とことんまで知っておられる神。

私たちが何をしても、どんな失敗をしても、私たちに対する神さまの在り方は
変わらない。神さまの「御計らい」は「私の全て」を織り込んでいる。

〈ダビデ〉

イスラエルの国が最も栄えた時期に心の緩みから、前線で働いている兵士達をよそに、
兵士の妻であったバテシェバを奪い、自分のものとしてしまう罪を犯した。

どうしてあなたは主の言葉を軽んじ、その目の前に悪事をおこなったのですか。あなたは
つるぎをもってヘテびとウリヤを殺し、その妻をとって自分の妻とした。 II サムエル 12 : 9

激しく自分を責め、神の前に悔い改めたダビデ。

後にダビデとバテシェバに授かった子は・・・ソロモン

もし人が自分は何か知っていると思うなら、その人は知らなければならないことをまだ知っていません。

しかし人が神を愛するなら、その人は神に知られています。 I コリント 8 : 2~3